



平成22年4月28日

各 位

会 社 名 第一工業製薬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大柳 雅利  
 (コード番号 4461 東証・大証各第一部)  
 問合せ先 取締役財務本部長 浦 山 勇  
 (TEL 075-323-5955)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月14日に公表した平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,000	1,000	600	280	7.17
今回修正予想(B)	44,350	1,570	1,230	500	12.81
増減額(B-A)	350	570	630	220	
増減率(%)	0.8	57.0	105.0	78.6	
前期実績	46,528	298	△28	△350	△8.99

## 2. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,300	400	240	70	1.79
今回修正予想(B)	35,200	920	810	430	11.02
増減額(B-A)	△100	520	570	360	
増減率(%)	△0.3	130.0	237.5	514.3	
前期実績	37,663	△253	△284	△444	△11.38

## 3. 修正の理由

わが国経済は、在庫調整が一巡し、中国を含む新興国の高成長に支えられ、輸出の拡大などにより景気は回復基調にあります。しかし、設備や雇用の過剰感を払拭できず消費の伸び悩みや原油、ナフサ価格の高騰による原材料費の値上がり、為替の動向など懸念材料も数多く抱えています。

このような環境の下、当社は、適正な採算確保のための販売価格の是正や全社一丸となって総経費の削減に取り組み、その成果が顕著となってまいりました。これにより通期の業績は、個別、連結とも営業利益、経常利益、当期純利益いずれも前回予想を大きく上回ると予想されますので上記のとおり修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上